

大人気

「竹田城跡の歩き方」(神鍋高原 ブルーリッジホテル流)

○「竹田城まめ知識」

- ・天守台など豪壮な石垣のみ現存する全国屈指の山城遺構として、注目を集める国史跡。(標高約354m)
- ・秋から冬の早朝に朝霧が発生し、雲海に包まれた竹田城跡は、まさに天空に浮かぶ城。もちろん、四季折々の情景をお楽しみいただけます。
- ・1443年、但馬の守護大名 山名宗全が基礎を築いたとされ、太田垣氏が7代にわたって城主となったが、織田信長の命による秀吉の但馬征伐で、1580年に落城したとされています。



写真提供 吉田利栄



*写真はいずれもイメージです

○「雲海の発生に関して」

- ・時期は9月~11月です。2月末までは見られますが、晩秋が一番発生しやすいようです。
- ・時間は、明け方から午前8時頃までです。
- ・以下のような条件を満たした場合に発生しやすくなると言われています。

当日、日本海に高気圧の中心があること

よく晴れていること

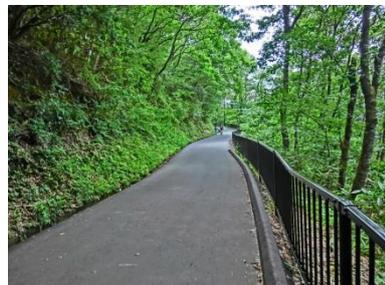
朝方と日中の気温の差が大きいこと

風が弱いこと

○「竹田城散策ガイド」

カーナビに「竹田城跡」と設定しスタート。ナビがなくても、案内看板に注意すれば、無事到着です。
(竹田城跡で表示されない場合、山城の郷 0796-70-6518 で入力してみてください。)

- ・入口近くの駐車場に到着です。本丸までは成人男子で20分程度、年配の方も大勢登ってます。



*駐車場には、トイレ、自動販売機、小さな土産販売店があります。

*入口はすぐそばです。記念撮影スポットです。登坂道は舗装されています。

*駐車場が満車の場合もあります。また、冬季等駐車場までの道が閉鎖される場合があります。

- ・自然を満喫しながら登りましょう。



約10分、残り5分の標識です。



約14分、やっと石垣部分まで来ました。



約15分、大手門到着です。絶景！

- ・本丸を目指して



大手門での眺めでも竹田城の魅力は十分堪能できます。もう一息頑張れる方は、残り約5分、計約20分で本丸に到着です。



目の前に広がる360度の絶景。登った甲斐がありました。

お疲れ様でした。

お帰りは足元にご注意し、運転も気をつけてお帰り下さい。

*2013年7月の訪問に基づいています。景観等は変わることがあります。

*ホテルからは、2012年開設の「北近畿豊岡道・八鹿氷ノ山IC」を利用しています。ナビに表示されない場合があります。

*「播但連絡道路、または北近畿豊岡道・和田山IC」から約10分で到着です。

*2013年10月より、300円の観覧料がかかるようになっています。